

高大連携講座

ハリヨ研修 1年理数科

〈目的〉ハリヨの調査研究活動及び環境保全活動を行い、環境保全の大切さ、自然環境と人間生活のかかわりについて考える。

〈日時〉令和6年5月31日(金) 8:30~15:30

〈場所〉みかげの森・プラザしもたど、海津市南濃町津屋清水池周辺

〈講師〉岐阜協立大学 森 誠一 教授 (淡水魚研究の第一人者)

〈対象〉理数科1年生40名、理数科ハリヨ班3年生4名、2年生3名

本校理数科では、2006年6月より南濃町津屋清水池周辺のハリヨの調査研究及び保護活動を行っています。ハリヨは特有の行動様式があり、現在では西濃と滋賀県東部にしか生息しない希少種です。研修場所の南濃町津屋清水池は、その環境も含めて、国の天然記念物に指定されています。

ハリヨの継続研究を行っている研究班の先輩も現地に同行し、後輩に伝えています。

森教授の講義



西美濃における「郷土財」湧水魚ハリヨ

1. 西美濃ってどんなところ？
2. ハリヨってどんな魚？
3. 郷土財の保全と活用を！



森誠一教授

清水池周辺

清水池と周辺の環境、地理的な特徴について野外講義



ハリヨ観察

2・3年生の追い込み作業と個体調査を見学



※本校は、特別の許可を頂いて調査活動を行っています。
また、ハリヨの捕獲、殺傷は岐阜県条例により禁止されています。

調査活動

1年生の「カワゲラウォッチング」による水質調査



リーフレット配布

雨の降る中、1年生40名は南濃町津屋地区に374枚を配布。近隣小学校はハリヨ班代表生徒が配布しました。

